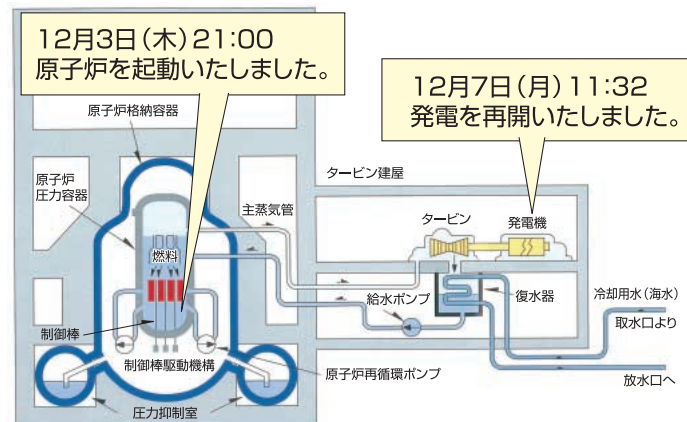


原子炉を起動し、発電を再開いたしました ～第3回定期検査は来年1月終了予定です～

東通原子力発電所は、平成21年9月12日(土)から約4カ月間の計画で、第3回定期検査を実施しています。

検査は当初の予定通り進んでおり、12月3日(木)に原子炉を起動し、12月7日(月)には、発電を再開いたしました。来年1月には終了する予定です。



定期検査は、原子炉を止めてタービンなどの分解点検を行ったり、燃料を取り替えるなど、原子力発電所の安全・安定運転にとって非常に重要な検査です。

今後は営業運転に向けて、約1カ月の調整運転を続けながら設備の健全性を確認し、国の総合負荷性能検査に合格することにより、定期検査終了となります。

第3回定期検査は終盤を迎えております。発電所員、協力会社の皆さん一丸となって、安全最優先で最後まで慎重に検査を遂行してまいります。

定期検査中の東通原子力発電所の様子



タービンなどを分解点検(タービン建屋)



50万ボルトへの昇圧工事(主変圧器)

定期検査一口メモ

定期検査で原子炉の燃料はどのくらい交換するの?

原子炉に装荷している燃料集合体764体のうち、今回の定期検査では208体を取り替えました。

燃料の取り替えは、定期検査毎に全燃料の約1/4程度を取り替えます。

また、燃料の取り替えに合わせて、燃料の配置換えを行い、燃料が適切に燃焼するように管理しています。



発電所トピックス1 手に汗握る熱戦が繰り広げられる! ～第4回東通原子力発電所長杯ゲートボール大会開催～

平成21年10月21日(水)、東通村役場向かいの「ふるさと広場ゲートボールコート」において、第4回東通原子力発電所長杯ゲートボール大会を開催いたしました。

秋晴れの中、東通村内外および東京・東北両電力の計7チーム48名が参加しました。『早掛平チーム』の中野ミヨさんによる選手宣誓により試合が始まり、予選から各チームとも熱戦を繰り広げ、楽しいふれあいの場となりました。

決勝では『早掛平チーム』と『かもめチーム』が対戦しました。緊迫した試合展開となり、17対13で『早掛平チーム』が見事優勝し、三連覇を達成しました。

当発電所では、これからも様々なイベントを通じて、地域の皆さまから親しまれ信頼される発電所を目指してまいります。



選手宣誓をする
早掛平チーム中野ミヨさん



第1ゲート通過なるか



三連覇を達成した早掛平チーム

出場チーム

かもめ(老部)
そでやま(小田野沢)
早掛平(早掛平)
コスモス(小田野沢)
諏訪(泊)
アトム(東京電力)
つちおと(東北電力)



参加者全員での記念撮影 『皆さん、お疲れさまでした』

発電所トピックス2

走り方の基礎やトレーニング方法を学ぶ ～「東通 陸上競技教室」開催～

東通原子力発電所は、10月31日(土)東通中学校多目的グラウンドにおいて、東通小・中学校の陸上部員を中心とした45名を対象に、東北電力東通原子力発電所 次世代支援プロジェクト「東通 陸上競技教室」を開催しました。

今回の教室では、1991年東京国際女子マラソンで優勝され、「市民ランナーの星」として親しまれている谷川真理さん、箱根駅伝に出場し優勝の経験のある比嘉正樹さんと西田隆維さんの3名をお招きし、ご指導をいただきました。

午前の部は、走る時の目線、呼吸方法、腕の振り方、足の踏み出し方などの基礎や、筋力アップのためのトレーニングについて、動作を交えながら丁寧に教えていただきました。続いて、柔軟体操でしっかり体をほぐしたあと、1000m走によるタイム測定を行いました。

グラウンドを駆ける児童・生徒たちの表情は、有名な講師と一緒に走ることへの喜びに満ち溢れていました。

技術指導のほかに、3名の講師からは数々の大会での体験談や、練習・試合中の精神論、競技者にとっての栄養バランスの大切さなど、貴重なお話をいただき、児童・生徒たちは少しでも自分の中に取り入れようと真剣な眼差しで聴き入っていました。



骨盤から踏み出す感じで走ってみよう!



自己記録更新を目指し激走



講師と一緒に記念撮影(左:東通小学校の皆さん 右:東通中学校の皆さん)



「東通 陸上競技教室」講師ご紹介



たにがわ まり
谷川 真理さん
1991年東京国際女子マラソン優勝など、数々の大会で上位の成績をおさめる。現在は「市民ランナーの星」として親しまれタレントとしても活躍中。



ひが まさき
比嘉 正樹さん
山梨学院大学時代、1992年箱根駅伝に出場し、チームの優勝に貢献。現在は陸上コーチとして活躍。沖縄県男子駅伝チーム監督を務めた経験あり。



にした たかゆき
西田 隆維さん
2000年箱根駅伝に出場し、9区で区間新記録を達成、駒沢大学を優勝に導く。別府大分マラソンでは2時間8分という素晴らしい記録を持つ。



「放課後ひろば」は、地域の未来を担う子どもたちが、のびのびと成長できる環境づくりのために、東北電力が取り組む次世代支援プロジェクトの総称です。

午後の部は、短・長距離走、ハードル、走り高飛びなど、各種目別に分かれての個別指導をいただき、最後に児童・生徒全員参加の駅伝を実施し、心地よい汗を流していました。

終了式で、3名の講師から「みんなの体の動きが変化していく様子が見えてうれしかったです」「継続して目標に向かう努力をすること。そして挑戦することが大切です」「これからの試合での活躍を期待しています」とのお言葉をいただきました。

また、参加した児童・生徒からは「素晴らしい講師に指導してもらい感激しています。今後の練習に活かし、来年の大会に向けて頑張ります」と頼もしい声が聞こえてきました。

当発電所では、今後も様々な活動を通じ、子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。



ハードル走での足の運び方を伝授



砲丸投げの投球フォームを講師がチェック

発電所トピックス3 「原子力の日」に東通小・中学校へ図書を寄贈しました

東通原子力発電所では、10月26日(原子力の日)に、東通村教育委員会に、環境・エネルギーなどに関する教育図書219冊を寄贈いたしました。

この図書寄贈は、子どもたちが読書を通じ、健やかに成長することを願い、平成10年度から、毎年行っているものです。

目録を手にした、東通村教育委員会の川畑修二教育長からは「いつも図書を寄贈していただき感謝しています。学校内の図書室も充実し、子どもたちが環境やエネルギーについて関心を持ち、理解を深める機会となっしてほしい」とのお言葉をいただきました。



川畑教育長(写真:右)に目録を手渡す
津幡東通原子力発電所長